

令和6年

第7回仙北市議会定例会
教 育 行 政 報 告

仙北市教育委員会

令和6年11月28日

令和6年第7回仙北市議会定例会の開会にあたり、主な事項について、ご報告させていただきます。

【学校適正配置準備室】

◇白岩小学校閉校式について

11月23日に白岩小学校閉校式を来賓、児童、教職員、地域の皆様ら約280人参加のもと挙行了しました。参加された方々からは、「感動的な閉校式だった」「地域の誇りを再確認した式典だった」といった声を頂戴しました。議員各位にはご多忙の中、ご臨席を賜り誠にありがとうございました。

◇学校適正配置の取り組みについて

10月以降、小・中学校それぞれにおいて、①神代・西明寺・桧木内の3校を1校に統合する案、②先の案に生保内を加え4校を1校に統合する案、そして③全校を1校に統合する案、この3つの学校再編案について、使用校舎や通学体制などの具体的なイメージを提示し、意見交換を行っています。

生保内学区では、園・小・中の保護者を対象に、生保内小・中学校を「単独」とするか「統合」を目指すかのアンケートを行いました。その結果、小学校については約7割、中学校については約6割の方が「単独」を希望していることが分かりました。

また、今月16日には市内すべての園・小・中の保護者代表25人が一堂に会し、地域ごとに異なる事情や思いを理解し合い、広く市民・保護者が納得できる学校再編案を目指して意見が交わされました。会では、生保内学区の保護者の意向を尊重しつつ、他の学区からは中学校に関しては学習環境や部活動等の面で、より大きい統合に期待する意見が多く出されました。

18日には、これらを踏まえ、今年度2回目の学校適正配置検討委員会を開催しました。委員会では、小学校は「神代・西明寺・桧木内の3校」を1校に統合する案、中学校は「神代・西明寺・桧木内の3校」または「生保内・神代・西明寺・桧木内の4校」を1校に統合する案を候補とすることが望ましいとする意見となりました。

12月には、全園・小・中の保護者を対象に、この候補案を提示し、意見交換を行う予定です。

【学校教育課】

◇マーチングバンドにおける児童の活躍について

11月2日に開催された第53回マーチングバンド・バトントワーリング東北大会で、角館小学校金管バンドドリームハーモニーが金賞を受賞しました。この結果、12月14日にさいたま市で開催される全国大会に出場します。

◇秋田県中学校秋季体育大会について

11月2日に開催された剣道男子団体において、生保内中学校が第3位となりました。11月3日に開催された柔道では、女子個人戦57kg級で神代中学校の佐藤伊咲季(さとう いさき)さんが優勝、同じく70kg超級で角館中学校の黒澤葵(くろさわ あおい)さんが第2位、男子個人戦90kg級で角館中学校の斎藤輝愛(さいとう きあら)さんが第2位となりました。11月9日、10日に行われたバレーボールでは、西明寺中学校・角館中学校の合同チームが第3位となりました。

◇「大切な命を守る」全国中学・高校生作文コンクールについて

令和6年度「大切な命を守る」全国中学・高校生作文コンクールにおいて、神代中学校の佐藤伊咲季(さとう いさき)さんが審査委員奨励賞を受賞しました。

【北浦教育文化研究所】

◇仙北市教育研究会研究大会について

11月8日に仙北市教育研究会研究大会を開催しました。これは、仙北市の教育の更なる質的向上を目指し、市内小・中学校の全教員が授業参観を通して研修するものです。今年度は、西明寺小学校・中学校を会場に、小学校2・3・5年、中学校1・2年が授業を公開しました。

大会テーマを「“「問い」を発する子ども”の育成 思考を広げ、深めることのできる言語活動の工夫 ～安心して意見を交換できる共感的な集団づくりを土台として～」とし、言語活動の充実に向けた工夫やICTの効果的な活用、よりよい学びの集団づくりなどの視点から研究協議を行い、参加者それぞれが考え方を深める機会となりました。言語活動の工夫を重点に掲げて3年目となりますが、児童・生徒主体の活発な意見交換が見られ、これまでの積み重ねの成果が表れていました。

◇仙北地域中学生向け企業説明会について

11月14日に仙北市内全中学2年生を対象に、仙北地域に拠点を置く16企業の協力を得て、企業説明会を行いました。本事業は、各企業から仕事の内容や魅力などを説明していただき、「働く」ことを通して社会に貢献する意義を捉え、今後の進路選択に役立てることや、仙北市への理解を深め、興味関心を一層高めて、地域や社会を支えようとする意欲と志を育むことをねらいとした「ヤマメ・サクラマスプロジェクト」の一環として実施しているものです。今年度が3年目となりますが、企業の方々の説明には、単なる仕事の話だけではなく、中学生の今、そして社会に出るまでに大切にしてほしいことなどの話も盛り込まれており、進路選択だけでなく、自分を見つめ、生き方について考える貴重な機会となりました。

参加した生徒からは、「職場体験で行けなかった企業について知ることができ、将来について深く考える機会となった」「県外で働きたいと思っていたけれど、説明を聞いて仙北市で働きたい思いが出てきた」「何の仕事に就くにも、今は勉強や部活動をしっかりとやることが大事だと分かった」などの声が聞かれました。

今後も官・民・学の連携を深め来年度以降も、「ふるさとを愛し、社会を支える自覚と高い志にあふれる人づくり」をさらに充実させてまいります。

◇「せんぼくはたらく BOOK」の発行について

地域を担う若者を育む「ヤマメ・サクラマスプロジェクト」の一環として「仙

北市夢百科事典 せんぼくはたらく BOOK Vol.1」を発行しました。これは、「仙北市を舞台に故郷の未来をつくる」ことを夢・志とする子どもの育成に資する読み物資料として作成しました。仙北市で働く人々に取材し、その力強く魅力的に生きる姿を伝え、小・中学生が仙北市の魅力に気付いたり、働くことや仕事についての考えを深めたりすることをねらいとしたものです。

Vol.1では「女性と若い世代の活躍」を主テーマとして、多様な職業の12人について掲載しました。市内小・中学校には、学級ごとに活用できるよう、また、すぐに手に取って読めるよう計300部を配付しています。本日、議員の皆様にも配布させていただきましたので、お読みいただければ幸いです。この後、Vol.2「つなぐ・つたえる」を令和7年10月に発行する予定で編集を進めています。

【平福記念美術館】

◇「第47回児童生徒県南美術展」について

11月28日から「第47回児童生徒県南美術展」を開催しています。今回は中学校22校、小学校53校より合計932点の作品を出品いただきました。11月20日には審査会を行い、23点の特賞作品が決定しました。令和7年1月18日には特賞受賞者表彰式を行う予定です。会期は令和7年1月24日までとなっております。是非この機会に児童生徒の個性豊かな作品をご鑑賞ください。

以上、教育行政に関する報告を申し上げましたが、本定例会に提案しております教育関係議案につきまして、慎重審議のうえ、ご可決賜りますようお願い申し上げます、教育行政報告といたします。